

創 刊 号
平成16年3月

まちづくり研究 は ち お う じ

- 「地域の声を聞くために大都市を目指す」：指定都市と区制度・地域自治組織
 - 「ターゲットはネオシニア」：中心市街地再生計画
 - 「今こそ家族・地域の出番です」：少子化対策の基本的視点
- ～そのほか今が旬の題材が盛りだくさん～



八王子市都市政策研究会議

“まち研 はちおうじ”創刊に寄せて

八王子市長 黒須隆一

四半世紀ほど前「ジャパン アズ ナンバーワン」という本が話題を呼びました。そこでは戦後の我が国の目覚ましい復興と高度経済成長が論じられ、成功の理由を分析するとともに、米国への警鐘を鳴らした内容が記されていました。さらに、続編においては高度経済成長下の我が国及び国民がいつしか身に宿した、傲慢ともいえる自信に対しての警告も発せられたところです。しかしながら、昭和60年代以後我が国は「バブル経済期」や「失われた10年」を経て、大きくその活力を失ってしまいました。実際には、昨年前半あたりを境に、大手製造業等を中心に指標的には復活の兆しを見せているところです。それにも拘らず世間的には「活力＝元気」が失われたままであり、かつての過信ともいえた「自信」のかけらさえ感じられません。

私は、政治家の責任もさることながら、その要因の一つに「人々の心の持ちよう」があると考えます。低成長が続いているとはいえ、我が国の経済・生活水準は世界屈指のレベルにあります。また、日本人の美德である勤勉性や倫理観の高さは大きく失われたものでもありません。だからこそ、健全な自信のもと「元気」をキーワードとして、他市に誇れる「オンリーワン」につなげていくことが重要と感じています。

「まち」の活力についても同じことが言えましょう。私は長年このまち八王子で生まれ、生活してきました。そして何よりもこのまちを愛してやまない一人です。それは決して観念的なものではなく、豊かな自然の中で、多様な価値観と経験を有する53万人に及ぶ人々が醸し出す生命力を何よりの財産と実感しているからこそその思いです。現実には市民の信託を受け行政の舵取りをしていく身としては、市民の生命と財産を守るため、適時、適切な多くの判断を下していかなければなりません。時には難しい決断を求められる場面もあります。しかしながら「愛するふるさと八王子」のため、常に前向きに「元気」をモットーとして「まちづくり」に当たろうと心に決めているところです。

さて、「元気なまち」を創っていくためには「一步、二歩先を見据えた」政策形成が重要です。また、地方分権時代の都市間競争に伍していくためには、独自性に富んだ政策が求められます。そうした政策は自治体職員が先ずは主体となって考えていくべきものですが、多様な市民の意見を踏まえたものでなくてはなりません。そのような考えから昨年、公募市民と学識経験者及び市の職員からなる「八王子市都市政策研究会議」を設置しました。

私は市政運営にあたってはスピードを最も重視しています。しかしながら、当会議から「先を見据えた政策は、広範な市民との意見交換が必要であり、そのためには積極的な情報発信の場の設定を」との報告を受けました。そして「まちづくり研究はちおうじ」の創刊を提案されました。政策は具体化され実行して初めて意義を持つものです。その意味からも、一日も早く、具体的な手順も踏まえた提言を受け、実現していくことを大いに楽しみにしております。

ともあれ、この小冊子が評価されるものとなるためには、当会議が政策提言を定期的に発信し、それを通して多くの人々が活発な意見交換をしていくことが重要です。市民の方々に親しまれ注目される“まち研はちおうじ”となることを期待してやまない次第です。

平成 16 年 3 月

まちづくり研究はちおうじ

● 巻頭言

- “まち研 はちおうじ”創刊に寄せて 1
黒須 隆一 八王子市長

● 研究報告

「都市体制」編

- 地方政府の確立と基礎自治体の政治的機能 7
羽貝 正美 東京都立大学大学院都市科学研究科教授
- 政令指定都市 ～効果的な行政区を目指して～ 13
渡邊 富士夫 まちなみ整備部開発指導課
- 八王子市における住民自治制度の構築について 21
神山 善光 市民部浅川地域事務所課長補佐兼主査
- 地方分権社会における旧南多摩地域自治体のあり方について 27
～都市制度選択に関する研究～
長谷川 仁 道路事業部計画課主任
福田 純 生涯学習スポーツ部生涯学習総務課
- 八王子市における協働について 38
峯尾 マス子 総合政策部政策審議室主査
- 課税自主権の活用とその課題 44
野村 秀郎 まちなみ整備部市街地整備課
- 公共施設におけるPFIリスク管理機能について 51
～リスク低減のために～
田口 啓明 環境部戸吹不燃物処理センター
- 市民・議会・行政の連携による地方政府の意思決定 60
～基本構想（基本計画）と自治基本条例策定過程を手がかりに～
坂倉 仁 総合政策部政策審議室主幹

創刊号 目 次

「都市政策」編

政策研究への接近 ～政策過程と政策の形式～	7 1
前田 成東	東海大学政治経済学部教授
少子化社会を考える ～今、何が求められているのか～	7 8
西山 功二	総合政策部政策審議室主任
コミュニティの側面から見た学校施設の活用	8 4
小澤 篤子	生涯学習スポーツ部生涯学習総務課課長補佐兼主査
モビリティ確保と効率的な公共交通維持方策の検討	9 1
吉田 樹	都市政策研究会議市民委員（東京都立大学大学院）
“顔(^^)”の見えるまちづくり	9 9
～歴史と生活の営みから生まれる八王子中心市街地の活性化～	
太田 國芳	下水道部管路建設課主任
菅野 匡彦	こども家庭部子育て支援課
Hachioji Cycling Strategy ㊿	1 1 6
～もっと元気なまちへ「八王子自転車戦略」～	
久間 毅	水道部水道総務課主任
住宅販売から見た八王子 ～折込広告を資料として！～	1 3 1
奥住 南子	都市政策研究会議市民委員
自治体政策過程分析 ～八王子市の政策決定事例から～	1 3 9
中村 敬	行政経営部長
● 委員及び研究員の紹介	1 5 2
● 創刊にあたって	1 5 4
田中 正美	助 役
磯 洋一	まちづくり計画部長
● 八王子市都市政策研究会議設置要綱及び職員研究チーム設置要綱	1 5 6
● 活動経緯	1 5 9
● お知らせ	1 6 0
● 編集後記	